

ごみ分別の ポイント検

皆さん、市のごみの分別には慣れましたか？新しい分別方法が始まって一年、ここで、ごみの分別の再確認をしてみましょう。

プラスチック容器の日に回収したごみ袋を開けると中から分別間違いのものがある…。これではリサイクルできません。リサイクル推進のために、もう一度、「ごみの分け方・出し方」のパンフレットを見て、正しいごみの分別をお願いします。



分別間違いの一例

ビデオテープは、カンの日
(その他のプラスチック類)

ペットボトルは、カンの日・ビンの日
キャップは、プラ容器の日

金属部分のないプラスチック製ハンガーは、カンの日
(その他のプラスチック類)

ゴム手袋は、燃やせるごみの日
(ゴム製品)

紙カップは、燃やせるごみの日
洗えば、かみの日(紙製容器包装)



「ごみの分け方・出し方」のパンフレット

問合せ クリーン課 電話 055 949 6805

ストップ!! 地球温暖化

〜地球温暖化ってなに?〜

近年、世間で騒がれている地球温暖化。「温暖化とは何か」を知ること、私たち一人ひとりが、毎日の生活をもう一度見つめ直すきっかけにしましょう。

地球温暖化は私たち自身の問題

地球温暖化は、地表を取り巻く大気中で、二酸化炭素(CO₂)やフロンガスといった地表の温度を保つ物質(温室効果ガス)が増え過ぎることによって起こります。中でも人間生活に由来するCO₂の排出量増加が温暖化の主な原因であるといわれています。例えば、私たちがテレビを見たり、お風呂に入った時、車に乗りたりする時には必ずエネルギーを消費します。電気やガス・燃料といった身近なエネルギーを生産・使用するたびに、これまで大量のCO₂が排出されてきま

した。近代化によって私たちの生活が便利になればなるほど、CO₂の排出量は増えていったのです。次世代の子どもたちは大丈夫? このままCO₂排出量が増え続けると、五十年後には地球全体で約三度気温が上昇することが予測されています。温暖化によって海面の上昇や異常気象、生態系の破壊などを引き起こす恐れがあります。特に、多くの食料を輸入に頼る日本では、異常気象などによる農産物収穫高の影響を受けやすく、都市部では夏の猛暑や熱帯夜の増加など温暖化の二次的な影響も心配されます。



知って得するプチ・エコ知識

取り組み例	一世帯あたりの年間CO ₂ 削減効果	一世帯あたりの年間節約効果	備考
風呂の残り湯を洗濯に使う	約 17kg/年	約 5,000 円/年	庭への散水、トイレの水に使っている人も。市販のポンプが便利。
冷房の温度を1高く、暖房の温度を1低く設定	約 17kg/年	約 2,000 円/年	カーテンで日の射し込みを調整したり、着る物を工夫すれば、冷暖房なしで過ごせる。冷暖房を使い始める時期を調整する。

問合せ 環境政策課 電話 055 949 6804

ごみの減量化が進む一方、市内各地でごみの不法投棄が続出しています。一部の心ない人のために私たちの身近な環境が汚されてしまうようなことは、決して許されません。少しでもごみが捨てられていると、その場所に重ねて不法投棄されてしまう傾向があります。皆さんも不法投棄がされないよう、日ごろから身近な環境を清潔にしておくよう心掛けましょう。



市内山間部での不法投棄現場写真

みんなの心を荒廃させる
不法投棄は許さない!!
全国ごみ不法投棄監視月間

問合せ 環境政策課 電話 055 949 6804